



第1096号
2008年10月12日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇10月の代禱・信施奉獻先
▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため▽月島聖ルカ保育園のため▽こどものためのミニストーリーの働きのため▽教役者緊急援助資金のため(10月第3主日10・19)▽社会事業の日(10・26)

《奉獻先から》

浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動
教会の活動として8年目。ここ数年は横ばいだった配食数は今春からやや増加の傾向、9月などは毎回400人を超える希望者が来会されています。ひとりずつに手渡されるお弁当は炊込ご飯250グラム。割り箸を添え、時折は活動案内や注意書き、行政からのお知らせなどの

チラシも一緒にレジ袋に入れて提供されています。炊飯は聖ヨハネと聖アンデレ両教会の台所で当日の朝の作業で、10時頃までにバック詰めを終えています。その準備と配食(礼拝後12時)の際には人手が必要で、学校や他教会から毎回、数人のボランティアの方々が…。ご協力いただける方はぜひ一緒に。

活動のために、同時に活動が必要ない社会が実現しますよう、お祈りと働きかけをお願いします。(牧師・司祭 下条裕章)

◇堅信受領
10月5日 神田キリスト教会
▽加瀬正義(神田)
◇教区HP更新 主教メッセー
ジ(毎月)、教区イベント、トピックスなど。一部で写真掲載。

今週・来週の予定

10月12日~25日

- 12(日) 聖霊降臨後第2主日
主教巡回
聖パトリック教会
障関連: ふれあいキャン
プ(~13・武蔵嵐山)
- 13(月・休) 聖職養成委・神学生懇
談会
- 14(火) 銀座朝拝会
常置委員会
礼拝音楽委員会
- 15(水) 教役者レクイエム
正義と平和協議会運営
委員会
- 16(木) 主教座聖堂活動委員会
18(土) 財政委・企画室ソウル
教区研修会(~21)
- 19(日) 聖霊降臨後第2主日
主教巡回
聖ルカ礼拝堂
21(火) 主教(名古屋)
(~23)
- 23(木) 信徒講座=講師 山口里
子(教区会館)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

真つ青な秋の空を見ると、ひとりの男の子を思い出します。もう3、4年前になるでしょうか、年長組になってもなんとなく私のそばにいる…。ちよつと不安気な男の子でした。

雲と一緒に、幸せな空気が流れていました。私が癒されてきました。彼も同じように感じていたのでしょうか。毎日ちよつと幸せを共有することで、いつも私のそばにいた彼が、ある日、もう

《恵みに生かされて》

「こどもたちと共に」

伊藤ますみ

大丈夫よ、とでも言うように、私の手からスーツと離れていきました。こどもの力を信じて、寄り添い、待つことの大切さを彼から学んだひとこまです。

その頃彼が好きたこと
は、園庭でござに寝ころぶこと
で空を眺めること
とでした。「先生、ござ敷いて待ってるからね」と言っ

私が新米の保育者だった頃、故城きみよ先生が、口を酸っぱくして教えてくださった「こどもの力はすばらしい!」を、今、ようやく実感できるようになりました。毎日、こどもたちの笑顔のなかで暮らせることに、心より感謝しています。

(諸聖徒幼稚園園長)

信仰と生活委員会報告

(9月29日)

*青年活動支援部会報告(全国青年大会・沖縄には新メンバーを含めて11人参加し、成果などを評価)。

*COA夏キャンプの報告、およびCOA活動に対する支援のあり方につき討議(継続)。

*信徒講座(別掲)の主題、当日の役割分担の確認。

*「立教大学メサイヤ」パンフレットへ広告(東京教区)掲載、下町教会G研修会支援金、外濠G「みんながつくるバリアフリーのクリスマス」支援金などの了承。

*09年度活動計画及び予算案を協議、承認。

*関連する諸グループ・活動の報告、その他。

▽財政委員会・教区企画室合同でソウル教区訪問 同教区の活動や教会活動支援体制などを調査する目的で10月18日(土)

(21日(火))メンバーは柳時京司祭(立教大学)、内田研吾財務

主事を含め11人(財政7人・企画室2人)。現地では同教区の教

務局長、管財部長、聖職養成委員

長などからの受講も。「信徒数

や献金の減少など停滞がみえる

東京教区の活性化に対し何かヒ

ントが得られれば…。結果などは

順次、委員会便りで報告した

い」と横倉正義財政委員長談。

▽秋の信徒講座へ古くて新しい聖書

信仰と生活委員会主催、講師・山口里子。①「聖なる、生・性・政・声・成…なる」

②『』にもかかわら

ず』の新しい展望へ」10月30

日。いずれも木曜夜19時〜21

時、教区会館3F。参加費5百

円。照会先は教区宣教主事。

▽東京・障害者問題を考える

集い11新しい豊かさを求めて

本日12日(日)14〜18時、調布

市総合福祉センター(京王線調

布駅前)。照会080-549

0-0895(実行委事務局)。

▽五本木九条の会(憲法を学

ぶ)講演会30 10月22日(水)18

時半〜20時半、聖パウロ教会。

「無教会キリスト者にとつての

『日本国憲法』」矢内原忠雄を中

心に。講師・森山浩二(恵泉

女学園講師、「日韓青年友和の

会」代表)。照会090-80

44-8524(同九条の会事

務局)。

務局)。

【学びと働きから】86

08フェスティバルを終えて

暑い陽射しの中で行われた2008フェスティバル。

直前準備は9月22日(月)。平日でボランティアの応募は少なかつたのですが、女学院の授業が終わった午後、準備に来てくださった方々は礼拝堂の設営とだしもの会場の設営で手際よく働いてくださいました。翌23日、フェスティバル当日は朝早くから熱気に包まれました。受付には続々と人が集まり、用意した式文が足りなくなったほどでした。

フェスティバルの礼拝でいちばん嬉しかったのは、顔を上げて祭壇に眼差しを送るお一人お

一人の顔の輝きでした。大勢の人ではなくて、祭壇から見えたのは「あなた」でした。これは嬉しい発見でした。

礼拝が終わる昼食のために各教会のお店に人が動き、一段落したところで「3分間音楽祭」の開始となりました。歌あり、踊りあり、楽器演奏あり、こんなに違うのかと、違いの豊かさに驚かされたのです。

各教会の連絡員、前日の設営と終了後の撤退作業を担ってくれた皆さんに、心から感謝したい。フェスティバルを創り上げてくださったのは、教会のお一人お一人の「あなた」であったと実感しています。

今回、感じたことは、実行委員会を含めて、さまざまな思いや

個々の賜物を受け止め合い、さらに助け合う姿が、まさに「あなたとともに」という姿になったのではないかと感じました。

今回「教区フェスティバル」ではなく「2008フェスティバル」としたのは、さまざまな背景を持った方々に参加して欲しいという願いからでした。礼拝でも各教会・団体のお店でも、そのことを見る事ができました。アジアやその他の国々の活動につながっている姿がありました。「あなたとともに」働く人たちが、この教区に豊かさを与えてくれると思えました。あらためて、みなさんに、ありがとうございました。

教区フェスティバル実行委員長

司祭 前田良彦